

大沼地域自然再生等モデル事業グランドデザイン

理念

ボランティア団体等と連携した多様性のある森林づくりの実践と森林内での様々な体験活動による森林環境教育の展開

活動目標

○多様性のある森林への再生

- ・地域ニーズを踏まえた生物、水質、景観など多様性のある森林への誘導
- ・周辺の天然林を参考とした森林の育成

○森林環境教育の推進

- ・森林に対する関心と理解を醸成する活動の実施
- ・指導者等の養成
- ・森林環境教育プログラムの整備

ボランティア活動の活性化と継続性の確保のための活動区域

行動理念

森林とふれあい、遊ぶ・学ぶ・働く・癒す

広葉樹育成ゾーン

- ・周辺の天然林を参考とした広葉樹植栽等

自然推移ゾーン

- ・天然広葉樹等の観察・育成

トドマツ保育ゾーン

- ・針広混交複層林化促進

カラマツ保育ゾーン

- ・針広混交複層林化促進

- ・ボランティア等による下刈、間伐等
- ・長期的なモニタリング

樹木博士認定常設コースゾーン

- ・指導者等の養成のための樹木博士認定会の開催
- ・自然観察会等の開催

★活動区域の相互連携

- 市民、ボランティア、NPO、教育関係者、企業等の参画を促すことによるネットワークの構築
- 森林環境教育プログラムの実践
- 地域住民等の理解と協力のための情報公開

連携活動の指針

第1ステップ

植樹や樹木博士認定会等を契機として森林とのふれあい・交流

第2ステップ

自然再生等を意識したボランティア活動への参加

第3ステップ

自らの意志による森林ボランティア活動の実践

各ゾーンの

多様性のある森林への移行

検証等

- 自然再生検討委員による自然再生手法等の検証・改善等